

「社会福祉学研究科の歴史が始まった」

学校法人弘前学院理事長・学院長 阿保邦弘

1995年（平成7）秋、当時の理事長田澤吉郎先生から短期大学生活福祉学科を改組転換し、時代の要請に沿って四年制大学社会福祉学部を開設することになったので、担当せよとの仕事が託された。そこで、1996年（平成8）社会福祉学部開設準備室を発足させ、作業に取り掛かった。4年後初代学部長花村春樹教授のもと1999年（平成11）4月待望の社会福祉学部を開設することができ、初年度は定員を上回る学生が与えられ順調な滑り出しとなった。開設3年目2001年（平成13）12月12日社会福祉学部生みの親田澤吉郎理事長・学長が不帰の人となった。弘前学院は、あくる2002年（平成14）1月13日大学体育館において「弘前学院葬」を挙行了した。私は、学院葬式辞においてかねてから田澤理事長と話題になっていた「社会福祉学大学院」の開設に取組むことをご霊前に約束したのである。しかも、時流にあわせて学部完成年次に連続して開設することにした。当時の矢島浩学長、後に大学院社会福祉学研究科長をお願いする齋藤繁教授等の大変なご努力によって2003年（平成15）4月開設にこぎつけ、第1年目は14名の院生が与えられ、幸先良いスタートとなった。

本研究科は、キリスト教に基づく建学の精神「畏神愛人」のもと、ジェネリックな教養と、福祉分野における幅広い知識と見識を備えた専門職業人を養成する社会福祉学部を基礎学部として、社会福祉及び関係領域に関するより高度な専門的知識と識見及びその技能の習得を目指し、なお研究・実践における創造的、発展的な社会福祉及びその関係領域の実践の場において指導的、中核的役割を担う高度専門職業人の要請を目的として教育を展開し、2005年（平成17）3月第1回修了式を行うことができた。しかし、残念ながらこのときは修士論文集のような計画は組まれなかった。

この度第2回修了式に際し、待ち望んだ「修士論文抄録集」の刊行が企画され、第1・2回修了者を包含して出版されることになった。このことは誠に有難いことであり、研究科紀要編集委員長野口伐名教授をはじめ諸先生方に衷心から感謝するとともに、今後継続的に刊行され本研究科の歴史を積み上げてくれるよう期待するものである。

2006年3月15日